

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	介護職として最低限身に着けておくべき、知識や技術の不足がみられる	ひとりひとりが自分で見て、考えて、対応していく力をつけ、介護力の底上げを図る	内部研修、外部研修を通して体系的な知識を学ぶ機会を確保していく。またケースカンファレンスにおいて利用者個々の症状や状態等を掘り下げて理解できるよう、主治医のコメントを頂いたり、看護師の参加協力を得るなどの体制づくりを行う。	12ヶ月
2	33	利用者の重度化の予防および看取りに対応できる力量が不足している	利用者の認知症の進行を遅らせ、穏やかに過ごせる期間が延びるようにすること、最期まで安心して暮らし続けることを支えられる力量をつける	日々の生活が画一化したり単調にならないよう工夫し、様々な刺激や経験で心身の活性化を促せるように支援する。医療機関の協力を得ながら、安心、安楽、清潔な生活を確保するためのマニュアルを作成し、実行する。	12ヶ月
3	49	外へ出かける機会が極めて限定され、刺激、変化の少ない生活になっている	ひとりひとりの意向・希望に沿った外出を実現し生活意欲の高揚を図る	フロアごとの職員配置の変更や業務内容を見直すなどして、外出に充てられるスタッフの確保を行う。また、ボランティアや入居者家族の理解と協力を得て、できるだけ行きたいところへいける計画を立て、実現していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。